

「ハノイ都市鉄道」

IT、医療、建設関連等幅広い分野において企業の現地法人設立合弁契約の支援を数多く手掛ける。また、自身でも日系現地法人の運営に携わり、ベトナムにおけるビジネスノウハウを熟知。



＜都市鉄道開発の必要性＞

統計総局の人口統計データによると、ハノイ市の人口は約859万人で、人口密度は約2,556人/平方キロメートル(2023年のデータ)で、ホーチミン市(人口:約946万人、人口密度:約4,513人/平方キロメートル)に次いで、ベトナム全国で第2位です。

専門家によると、人口200万人以上の都市では、慢性化する交通渋滞に陥ることを避けるため、都市鉄道への投資、開発が必須であると言われています。人口増加により道路が非常に混雑するハノイ市及びホーチミン市にとっては、都市鉄道への開発の必要性が急速に高まっています。

＜都市鉄道計画が10路線から14路線に拡大へ＞

2050年までを見据えた計画の中で、2030年までのハノイ首都交通計画を承認した2016年3月31日付の決定第519/TTg号によれば、ハノイでは全長413キロメートルの10路線を建設することが決定されていましたが、現在新たに調整中である2065年までを見据えた計画のうち2045年まで

の首都建設総合計画では、総路線数を10路線から14路線に拡大し、全長585km以上となることが提案され、本年7月1日ハノイ市人民評議会にて発表され、承認されました。

＜都市鉄道路線の投資・建設実施状況＞

2A号線 2021年11月6日に開業した都市鉄道の第一号。カトリン～ハドンの高架12駅、全長13.1km。交通運輸省の出資と中国のODA借款により2011年に着工。開業から総乗客数が数百万人に達し、地域市民から高い評価を得ています。

3.1号線(3号線の一部) 2024年第3四半期開業予定。ニョン～ハノイの全長12.5km。アジア開発銀行、欧州投資銀行、フランス開発庁などによるODA借款により2010年着工。

2号線・3号線・5号線 2024年から2030年までに約96.8kmを、2030年から2035年までに301kmの建設を完了させる予定です。

ハノイ都市鉄道全14路線で必要となる資金は総額554億4,200万USドルという巨額になります。



＜公共交通指向型による都市開発＞

ハノイは、先月の国会で可決された改正首都法にて、公共交通指向型開発(TODと呼ばれ、公共交通機関を基礎とした都市開発)を基礎として、近代的な都市地域の開発を進めることを目標として設定しています。決定第519号での首都交通計画によると、2030年までに都市中心部の公共旅客交通の市場シェアは50～55%に達し、2030年以降は65～70%に達すると見込まれています。

交通渋滞の解決、環境汚染の抑制に貢献するとともに、ハノイ市周辺の社会経済発展の新たな原動力を生み出し、そして経済成長を高めるために、都市鉄道の役割は極めて重要であり、緊急を要するものとなっています。